

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/05/09

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.94	0.06
JPY/THB	0.2375	-0.0009
USD/JPY	155.53	0.84
EUR/THB	39.70	0.04
EUR/USD	1.0748	-0.0007
USD/CNH	7.230	0.004
SGD/THB	27.25	0.02
AUD/THB	24.30	-0.03
USD/INR	83.52	0.00
USD Index	105.55	0.13

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.544	0.017
10Y (THB)	2.775	0.027
5Y (USD)	4.499	0.028
10Y (USD)	4.494	0.037

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,322.3	-1.9
WTI (Oil)	78.99	0.61
Copper	9,904.0	-125.5

Stock

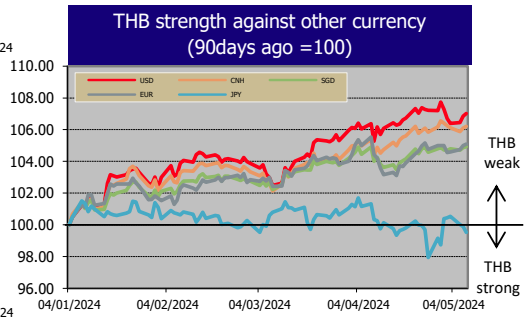
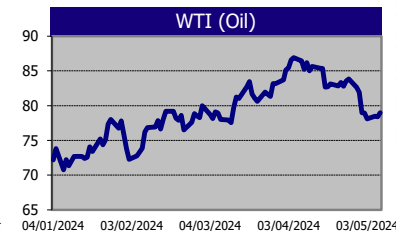
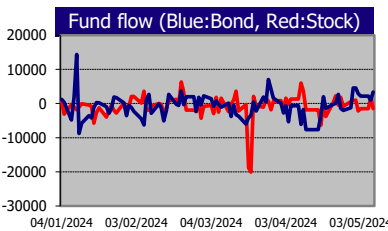
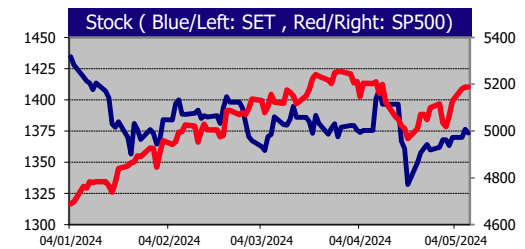
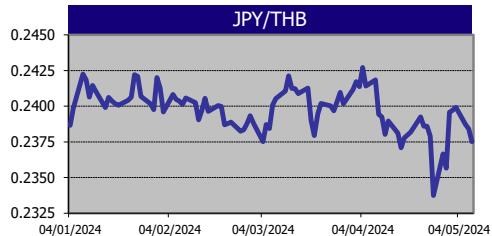
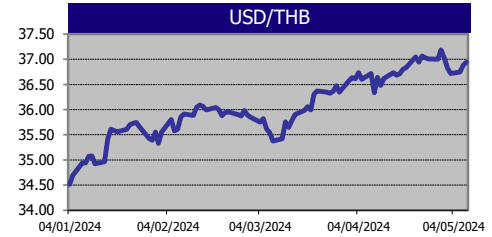
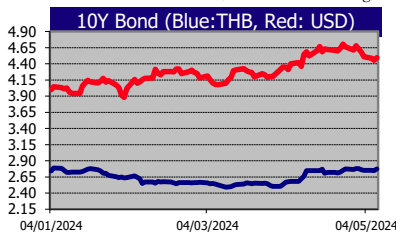
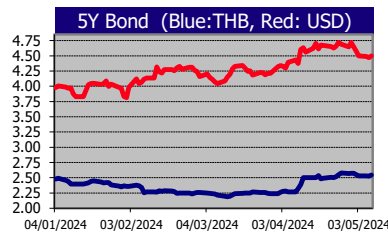
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,373.33	-3.04
NIKKEI (JP)	38,202.37	-632.73
DOW (US)	39,056.39	172.13
S&P500 (US)	5,187.67	-0.03
SHCOMP (CN)	3,128.48	-19.26
DAX(GER)	18,498.38	68.33

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,497)	-3293.7
Bond net flow	3,356	2356.2

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツはほぼ変わらず。36パーツ台後半で取引を開始。高値圏での推移を続けながらも、37パーツちょうど付近では上値は重く、やや膠着感漂う展開に。バンコク時間正午過ぎ、タイ商業・工業・銀行合同常設委員会(JSCCIB)が今年のタイ経済成長率予測を2.8%-3.3%から2.2%-2.7%に下方修正したことを公表すると、ややパーツ売りが強まり37パーツ台に乗せる場面も見られたが、勢いは続かず。直ぐに戻され、以降は37パーツちょうどから36パーツ台後半でのレンジで推移。海外時間に入っても同様の流れが継続し、そのまま36.94レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は上昇。154円台後半で取引を開始。週を通して底堅い推移を続けるドル円は、衆院財務金融委員会で植田日銀総裁が「基調的な物価上昇率、見通し通りに上がっていけば金融緩和度合い調節が適切」と発言するも影響は見られず。じりじりと上昇を続け、早々に155円台に乗せると、そのまま155円台半ばまで上昇。海外時間、Fed高官からのタカ派な発言を横目に同水準を維持しながら推移。結局155.53レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

先週荒い値動きを見せたドル円は、今週以降再び従前のような円じり安の展開に戻っている。日米金利差に基づくキャリー取引が選好されていることに加え、公表されている外国為替証拠金取引の建玉状況を見るに、逆張りを好む日本の個人投資家が先週の円急騰を受けドル買い持ち比率を高めていることなども裏にありそう。ただし、ドル円の水準が既に介入警戒域に達していること、市場の注目が来週15日発表の米4月CPIに向けられていること等を鑑みれば、足許の円安の動きがドル円を再び160円台に持ち上げることは想定しにくく、ここから円相場に方向感が出るとしたら来週の同指標の結果以降ではないかと考える。22年9月、10月の政府介入時には、その後11月の米CPI下振れを機にドル全面高の流れが一転した歴史があるだけに、15日の発表は注意深く見ておきたい。他方、タイに目を向けると、先週、現政権発足後初となる内閣改造が行われ、首相が兼任していた財務相のポストに証券取引所前理事長のピチャイ氏が就任している。金融政策を巡り、タイ政府と中銀の対立が顕在化しつつあるなか事態を開閉するキーマンとなるかが注目されており、タイバーツについては、ピチャイ氏と中銀のコミュニケーションにかかるヘッドライン等により突然相場が動意づく展開も意識しておく必要がある。 (吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.